

■ 敷地内自然域整備イメージ計画 1

※各イメージ計画は、予算等により整備実施可否の調整が必要であり、すべて実現するというものではありません



●自然域ハイキングコースイメージ計画

- ・地域自然生態を考慮した森林を整備  
（高木を生かし、低木や下草を刈り、健康林をつくる）
- ・登山道は地道とし、階段は設けずゆるやかな坂道計画
- ・登山道は周期的草刈や清掃を行い、雨水対策の土溝等管理を十分考慮する
- ・木陰の下等休憩ポイントにベンチやタンコロを設置（耐久性チェック）
- ・ハイキングコース設定には地形、現状木々を考慮する  
（山頂へのバリアフリー道路設定も同じ）



●ハイキングコース展望台イメージ計画

- ・展望スペースは廻りの木々を切り開くのではなく、高く上げて計画
- ・見晴らしや地形を十分考慮し、計画地設定
- ・展望東屋は木造とし、ウッドデッキを計画（耐久性考慮）
- ・登山道から展望へのアプローチは階段でなく、スロープデッキ計画（地形チェック）
- ・展望東屋周辺には、花木等季節感のある木々を自然的に植栽